

平成29年度事業計画について

観光は、人口交流の拡大による地域の活性化や機会の増大など、地域振興に大きな役割を果たす極めて重要な分野です。

北陸新幹線の敦賀開業や小浜京都ルートへの決定、また、今年の夏前には中部縦貫自動車道永平寺大野道路が開通するなど、高速交通ネットワークの整備が進むことにより、本県を取り巻く交流環境は大きく変化します。

今後、東は大野・勝山から岐阜へ、西は小浜・若狭から京都へ、南は敦賀から滋賀へ、北はあわら・坂井から石川へというように、東西南北4つのゲートをオープン化することにより、様々なタイプの人が行き来する「交流新時代」を迎えます。

このため、引き続き観光の魅力発信を一層強化し、三大都市圏や新幹線沿線、中・四国からの誘客を積極的に行います。また、行政や観光事業者の方々と引き続き連携を深めながら、魅力あふれる観光素材の磨き上げを行います。

加えて、外国人に対する情報発信強化や本県観光地へのツアー助成を行うとともに、着地型ツアーの充実など、国内外からの誘客を促進します。

平成29年度重点戦略

- 1 平成34年度の北陸新幹線の敦賀開業に向けて、首都圏・北関東・信越、中国・四国地方からの観光客や修学旅行などの誘致活動を県・市町・観光事業者などと連携して行います。
- 2 地域や旅行会社と連携して、さらなる観光素材の掘り起こしと磨き上げを行い、福井ならではの旅行商品の造成に努め、誘客を促進します。
- 3 スマートフォンやタブレット端末利用者が、本県の観光情報を利用しやすいようにWebサイトの機能を強化し、国内外の誘客拡大に努めます。
- 4 現地商談会の開催や海外旅行社への営業による台湾、香港、中国、タイなど引き続きアジアからの誘客を積極的に行います。

I 観光情報の収集と情報発信

1 ㊦ ふくいドットコム運営管理事業 (10,442千円)【補助事業】

福井県観光情報ホームページ「ふくいドットコム」を運営・管理し、サイトコンテンツの一層の充実を図ることにより、本県への観光客の誘致拡大、物産の販路拡大を図る。また、スマートフォン、タブレット端末でも全ページが閲覧・検索できるようにデザインのリニューアルを行う。

- ・観光地・物産等の情報掲載にかかるコンテンツ更新
- ・観光写真の追加

2 ㊦ 外国人観光客受入体制強化事業 (3,899千円)【補助事業】

外国人に対する本県観光の魅力発信および誘客拡大のため、スマートフォン、タブレット端末等へ対応した、福井県観光情報ホームページ「ふくいドットコム」のタイ語版ページを作成する。

3 観光情報メディア発信事業 (5,839 千円)【補助事業】

観光客への情報を発信するため、県内の飲食店情報や観光情報を掲載したご当地フリーペーパーを制作し、県内の宿泊施設やレンタカー会社等に設置するとともに、大手宿泊予約サイトと他メディアとのコラボレーションや連動キャンペーンなどを実施し、タイムリーな情報を効果的に全国に発信する。

4 金沢駅観光情報発信事業 (5,357 千円)【補助事業】

北陸新幹線金沢開業を活かし、引き続き首都圏および北関東・信越地域からの観光客・ビジネス客の増加が見込まれる金沢駅にデジタルサイネージを設置し、福井県の観光情報を発信する。

5 首都圏主要駅PR事業 (2,427 千円)【補助事業】

北陸新幹線敦賀開業や中部縦貫自動車道全線開通に向けて、福井県の認知度をさらに向上させるため、観光情報発信の拠点となる首都圏のJR主要駅に観光ポスターを掲出する。

6 旬の魅力PR・発信事業 (1,760 千円)

観光スポットや旬のイベント・食・土産等の具体的な情報を紹介した旅の特集を企画し、ホームページ「ふくいドットコム」で発信する。また、県外の旅行会社や旅行雑誌社および海外の旅行会社等に対して、「福井の季節イチオシ情報」(年4回)を発信し、旅行商品の造成を推進する。

7 広域観光助成事業 (1,114 千円)

主要高速道路のサービスエリアに年間を通して旬の観光情報パンフレットを配架し、県内観光情報の発信を強化する。

配架先：長良川SA下り(東海北陸自動車道)

大津SA上り(名神高速道)

西紀SA下り(舞鶴若狭自動車道)

II 国内・海外の誘客推進

1 国内からの誘客

(1) ふくい観光誘客強化事業 (12,707 千円)【補助事業】

① 福井県をPRする特集記事への助成

福井県をPRする旅行パンフレットや特集記事の提案に対し、内容に応じて助成する。

② 旅行会社への営業等

(2) バסטゥア一造成促進事業 (2,000 千円)【補助事業】

首都圏、中国・四国方面等からの新たな観光誘客を図るため、バस्तゥアを企画する旅行会社に対し、バス代を一部助成する。

(3) 県外観光商談会開催事業 (4,671千円)【補助事業】

東京、大阪、名古屋、広島において、県内の観光関連事業者が現地の旅行会社のキーマンと商談を行う機会を設定し、販路開拓を支援する。

(4) 現地メディアへの営業活動事業 (806千円)【補助事業】

本県への誘客促進を図るため、首都圏、北関東、中・四国、九州のメディアに対して観光PR等の営業を行う。

(5) 福井を学ぶ体験旅行推進事業 (5,226千円)【補助事業】

三大都市圏、信越、中国・四国等からの修学旅行や合宿等の誘致を強化するため、北陸3県、JR、北陸経済連合会との連携による修学旅行フェアを開催する。また、教育関係者の招へいおよび旅行会社や大学等への営業訪問、修学旅行における福井県オリジナル体験メニューの体験料助成を行う。

2 海外からの誘客

(1) 外国人観光客誘致拡大事業 (20,330千円)【補助事業】

海外からの観光客誘致を拡大するため、台湾、香港、中国、韓国、タイ、シンガポール、マレーシア等から貸切バスを利用した本県への旅行商品を造成する旅行会社に対し助成する。また、現地商談会の開催や旅行博等での現地プロモーション、海外の旅行会社等への営業活動、教育旅行視察の受入等を行う。

Ⅲ 地域活性化の推進と人材育成支援

1 観光客誘致体制強化事業 (18,590千円)【補助事業】

民間の専門家を2名配置し、観光団体や旅行会社、JR等との連携により誘客を促進する。

特に、観光地の活性化、2次交通アクセス等課題への対応、旅行商品の売り込み、首都圏への営業活動や情報発信等を行う。

2 JR金沢駅内福井県観光案内運営事業 (12,783千円)【補助事業】

JR金沢駅の「石川県金沢観光情報センター」内に福井県観光コンシェルジュを配置し、北陸・金沢を訪れる観光客に対し本県の観光地のPRを行い、誘客拡大を図る。

3 海外向け観光情報発信強化事業 (856千円)【補助事業】

①「越前・若狭周遊観光タクシープラン」を訪日外国人向け旅行予約サイト

「JAPANiCAN.COM」で販売し、北陸新幹線で金沢を訪れる外国人に福井県周遊をPRする。

②タクシードライバーに対し、外国人接遇・外国語対応講座を実施する。

4 広域観光連携事業 (1,550 千円)【補助事業】

中部および北陸の観光関係機関が広域的に連携し、国内および海外からの観光客誘致活動を実施する。

①北陸三県観光連盟共同事業

北陸3県観光連盟が共同で、首都圏旅行会社等への営業、メディアを活用した観光PR等を実施する。

②北陸三県誘客推進連携協議会への参画

北陸3県、JR西日本、北陸経済連合会が連携し、首都圏・中京圏・関西圏等において北陸の魅力をPRするとともに、旅行会社への売り込みを行う。

③中部広域観光推進協議会への参画

中部9県3市の観光事業者や民間が広域に連携して商談会の実施や国内外で開催する観光PRイベントに参加し、国内および海外からの観光客の誘致を促進する。

5 着地型旅行商品企画販売事業 (10,100 千円)

本県への観光客誘致拡大を図るため、地元の魅力ある観光資源を活かした着地型旅行商品の企画販売を行う。

6 優良観光土産品推奨事業 (1,339 千円)

県内事業者から土産品を募集して推奨品を決定し、ホームページ等で紹介することにより、観光土産品の品質の向上とPRを行う。

7 地域活性化に取り組む団体の支援 (1,300 千円)

観光ボランティアガイドや地域で実施する観光セッション等への支援、および地域イベント等に対する後援・協賛を行う。

IV 組織運営

1 総会・理事会の開催

総会、理事会、正副会長会議、監事会等を必要に応じて開催する。

2 観光功労者等の表彰

観光振興に功績のあった団体・個人を表彰する。

3 観光連盟の活動紹介

ホームページ「ふくいドットコム」で連盟や会員の活動状況を紹介する。

4 関係団体の行う事業への負担金支出

(公社)日本観光振興協会や中部広域観光推進協議会など、観光振興や地域の活性化を目的とした団体へ負担金を支出する。